

京大防災研・防災研究推進特別事業費による研究集会
「岐阜県飛騨地域における新たな複合・境界領域研究および研究者間連携の模索」

日程：2009年8月26日（水）午後～8月27日（金）午前

会場：奥飛騨総合文化センター（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷村上1480 TEL 0578-89-2144）

宿泊：民宿まほろば（岐阜県高山市奥飛騨温泉郷中尾206 TEL 0578-89-2382）

研究会の趣旨：

岐阜県高山市や飛騨市を中心とする飛騨地方では、京大防災研の2施設のほかにも京大理学研究科附属飛騨天文台や東京大学宇宙線研究所の施設等、複数の分野の研究施設が活動を行っています。本研究会では、飛騨地方を拠点とするこれらの研究施設の研究者を招いて討論することで、同地域を対象とする新たな複合・境界領域の研究課題や研究者間の連携を模索します。

プログラム案：

8月26日午後

13:30～14:00	趣旨説明と参加者紹介	大見士朗（京大防災研）
14:00～17:00	セッション1：飛騨地方を拠点とする研究の紹介	司会進行：大見士朗
14:00	川崎一朗（京大防災研）	飛騨地方のテクトニクス
14:25	竹内康雄（東大）	神岡地下での宇宙素粒子研究の紹介
14:50	今西和俊（産総研）	跡津川断層周辺における地殻活動観測
15:15～15:30	休憩	
15:30	一本 潔（京大理）	飛騨天文台における研究活動
15:55	水山高久（京大農）	飛騨山脈周辺の砂防と足洗谷における山地保全学 分野の観測研究
16:20	塚原弘昭（信州大）	信州大学山岳科学総合研究所の飛騨山脈をフィー ルドにした研究と市民向け活動の紹介
16:45	質疑・討論	
17:00	終了予定	

8月27日午前

9:10～10:50	セッション2：隔地施設の将来の模索 ～施設の研究・教育ミッション、他機関との連携、社会貢献等の紹介～	司会進行：川崎一朗
9:10	東大宇宙線研神岡宇宙素粒子研究施設	（鈴木洋一郎施設長）
9:30	京都大学大学院理学研究科附属天文台／飛騨天文台	（一本 潔 教授）
9:50	京大防災研：防災研のビジョンと隔地施設の創造的役割	（岡田憲夫所長）
10:10	京大防災研・流域災害研究センター	（藤田正治センター長）
10:30	京大防災研・地震予知研究センター	（飯尾能久センター長）
10:50～11:00	休憩	
11:00～11:45	セッション3：総合討論 飛騨地域における新たな複合・境界領域研究および研究者間連携の模索	司会進行：大見士朗
11:45	結び	
12:00	閉会	大見士朗（京大防災研）